

2025年7月1日
商 工 中 金

山陽エリアで運送・保管事業を展開する株式会社藤伸を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（広島支店）は、株式会社藤伸（本社：広島県広島市、代表者：藤川 晃伸）に対し、営業所取得資金として4億1,300万円の融資を実行しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、山陽エリアを中心に運送・保管事業を展開しています。4つの物流拠点と輸送物に応じた複数種類の車両を持ち、家電製品や日用雑貨品、リネン類等を効率的に輸送しています。

今回同社は、事務所照明のLED化による電力使用量の削減や環境配慮車両の導入等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社藤伸の概要】

所在地	広島県広島市佐伯区五日市港4丁目2-1
代表者	藤川 晃伸
業種	一般貨物自動車運送業
資本金	4,500万円
従業員数	180名（2025年2月末時点）
創業	1980年8月22日



【本社】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

